

北海道開発局の防災への取り組み

北海道開発局では、洪水時の防災対策として、以下の対応・活動を行っています。

①河川等の巡視

堤防等を巡視し、水防上危険であると認められる箇所があるときは、直ちに当該河川等の管理者に連絡



巡視の状況

②氾濫情報の提供

【国土交通省又は都道府県】

洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、水災による被害の軽減を図るため、浸水想定区域を指定、公表し、関係市町村に通知



洪水浸水想定区域図

③出水時の活動

- ・水防工法を実施
- ・決壊後の処置（氾濫被害の拡大防止）を実施



越水に対応するための土嚢工

④地域への防災支援

【市町村】

- ・浸水想定区域の指定に基づき、洪水ハザードマップの作成・配布
- ・洪水予報等の伝達方法、避難場所等を地域防災計画に規定
- ・地下街、要配慮者利用施設等への洪水予報等の伝達方法を地域防災計画に規定



洪水ハザードマップ

②氾濫情報の提供

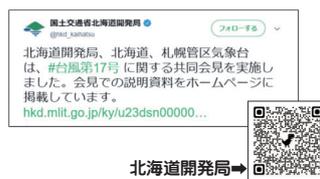
緊急速報メールやSNSを通じた河川情報提供

■ 氾濫危険情報及び氾濫発生情報の確実な周知



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

■ SNSによる情報提供事例



北海道開発局

Twitterでのツイート



帯広開発建設部

③出水時の活動

平成28年台風第10号における十勝川温泉付近での水防活動

- 8月30日 23:11 消防団(水防団)出動
 - 14人出動 土のう積み開始
- 8月31日 2:42 土のう積み完了
 - 大型土のう: 240個
 - 間詰め土のう: 1400個
 - 5:40 排水開始 ポンプ車2台
 - 11:38 排水終了 消防団(水防団)撤収



平成28年8月31日 帯広市内排水作業



平成28年8月31日 水防活動状況



平成28年8月31日 十勝川温泉土のう積み状況



平成28年8月31日 排水状況

④は、防災2/2へ→